

平成23年11月 東京地区百貨店売上高概況

平成23年12月19日

I. 概況

1. 売上高総額	1,373億円余
2. 前年同月比	-3.0% (店舗数調整後/5か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭0.3%(88.6%) : 非店頭-22.6%(11.4%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成23年10月対比±0店)
5. 総店舗面積	915,720㎡ (前年同月比:-3.1%)
6. 総従業員数	19,122人 (前年同月比:-8.8%)
7. 3か月移動平均値	4-6月 -3.1%、5-7月 -1.7%、6-8月 -1.2%、 7-9月 -2.5%、8-10月 -2.8%、9-11月 -2.8%

[参考] 平成22年11月の売上高増減率は0.3%

【11月売上の特徴】

- (1) 東京地区の入店客数は、各週末の天候不順が大きく影響し都内全店で前年を下回った。平均すると概ね5%~6%の減少率であった。
- (2) 東京地区の商況を分解すると、店頭売上は前年をクリア(+0.3%)したが、特設会場での催事や外商など、非店頭売上が大幅減少(-22.6%)し全体を押し下げる結果となった。
- (3) 高めに推移した気温の影響で、特にコート、セーター、マフラー、機能性肌着等の防寒衣料が苦戦した一方、それ以外の衣料分野は比較的堅調であった。
- (4) 高額商材の内、特に高級時計については、100万円を超える価格帯を中心に活発な動きがみられ、二桁増となる店も多くあった。
- (5) 季節商材である「歳暮」「おせち」「クリスマスケーキ」の11月の受注状況は、「絆」消費を背景に、都内各店で積極的に訴求展開した効果から概ね好調に推移した。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
 - ①増加した: 2店、②変化なし: 5店、③減少した: 13店、④不明: 1店
- (3) 11月歳時記 (文化の日、勤労感謝の日、七五三、歳暮) の売上 (同上)
 - ①増加した: 2店、②変化なし: 6店、③減少した: 5店、④不明: 8店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)
 - ①増加する: 2店、②変化なし: 13店、③減少する: 4店、④不明: 2店

東京地区百貨店 売上高速報 2011年11月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	137,367,840	100.0	-3.0 (-3.9)
紳士服・洋品	12,060,924	8.8	0.5 (0.2)
婦人服・洋品	26,812,559	19.5	-6.1 (-8.8)
子供服・洋品	2,136,615	1.6	-2.4 (-2.4)
その他衣料品	2,825,699	2.1	-3.3
衣 料 品	43,835,797	31.9	-4.0 (-5.8)
身のまわり品	15,724,257	11.4	-4.4 (-7.5)
化粧品	7,146,513	5.2	-2.9 (-5.2)
美術・宝飾・貴金属	6,670,760	4.9	-2.9 (-2.9)
その他雑貨	7,040,183	5.1	-4.5 (-4.7)
雑 貨	20,857,456	15.2	-3.4 (-4.3)
家 具	1,893,104	1.4	-2.4 (-2.8)
家 電	2,124,457	1.5	155.4
その他家庭用品	5,263,923	3.8	2.4 (2.4)
家 庭 用 品	9,281,484	6.8	17.3 (17.2)
生 鮮 食 品	6,425,491	4.7	-4.9 (-3.1)
菓 子	9,539,439	6.9	-1.9 (-1.1)
惣 菜	8,015,870	5.8	3.7 (4.8)
その他食料品	14,434,299	10.5	-7.0 (-6.2)
食 料 品	38,415,099	28.0	-3.3 (-2.3)
食 堂 喫 茶	3,090,362	2.2	-3.3 (-3.8)
サ ー ビ ス	2,347,764	1.7	-10.7 (-13.8)
そ の 他	3,815,621	2.8	-13.2 (-13.2)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

※

商 品 券	5,748,355 千円	-42.3 (-42.5)
従 業 員 数	19,122 人	-8.8
店 舗 面 積	915,720 m ²	-3.1

営 業 日 数	30.0 日	前年	30.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、家庭用品が3か月ぶりのプラス。マイナスは衣料品、身のまわり品、雑貨、食料品。また、紳士服・洋品が2か月連続、惣菜が4か月連続、家電が5か月連続、その他家庭用品が3か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-3.0	—	5か月連続マイナス
紳士服・洋品	0.5	0.0	2か月連続プラス
婦人服・洋品	-6.1	-1.2	9か月連続マイナス
子供服・洋品	-2.4	0.0	3か月連続マイナス
その他衣料品	-3.3	-0.1	43か月連続マイナス
衣料品	-4.0	-1.3	5か月連続マイナス
身のまわり品	-4.4	-0.5	2か月ぶりマイナス
化粧品	-2.9	-0.1	2か月ぶりマイナス*
美術・宝飾・貴金属	-2.9	-0.1	2か月連続マイナス*
その他雑貨	-4.5	-0.2	3か月連続マイナス*
雑貨	-3.4	-0.5	2か月連続マイナス
家具	-2.4	0.0	8か月連続マイナス
家電	155.4	0.9	5か月連続プラス
その他家庭用品	2.4	0.1	3か月ぶりプラス
家庭用品	17.3	1.0	3か月ぶりプラス
生鮮食品	-4.9	-0.2	2か月連続マイナス*
菓子	-1.9	-0.1	5か月連続マイナス*
惣菜	3.7	0.2	4か月連続プラス*
その他食料品	-7.0	-0.8	10か月連続マイナス*
食料品	-3.3	-0.9	5か月連続マイナス
食堂喫茶	-3.3	-0.1	3か月連続マイナス
サービス	-10.7	-0.2	6か月連続マイナス
その他	-13.2	-0.4	5か月連続マイナス
商品券	-42.3	-3.0	7か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>